

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

不老町地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

29年度は、各地区でお祭りや、食事会、サロン、バス旅行、運動会など、魅力ある活動が展開されました。一方で、地域活動への参加者や担い手の減少、外国人の方との関わり、ゴミ出しのマナー、集合住宅にお住まいの方とのコミュニケーション、高齢者単身世帯の増加、見守り活動の推進など、各地区で様々な課題やニーズが話し合われました。こうした現状を踏まえ、地域訪問や活動への参加を繰り返しながら、地区診断を行い、地域や関係機関と情報共有し課題解決に向けた働きかけを行いました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢分野の相談では複合的な相談が多いほか、圏域が広くお住まいの地域によっては来館が難しい相談も増えています。相談内容に応じて、直接ご自宅への訪問支援や、地域の会館や行事にお邪魔し出張相談窓口を設ける等、ニーズに応じた様々な相談支援を実施しました。こうした個別の相談事例を積み重ね、地域課題の把握にも活かしました。また、ケアプラザの情報網を活かし、幅広い分野の情報提供に努め、ご利用者にできる限り分かりやすく丁寧な説明に努めました。

(3) 各事業の連携

包括人員の加配により連携体制の強化に努めました。まず、所内会議の実施時間や回数の見直しを行い、コーディネーターを含め、無理なく情報共有ができる体制づくりに取り組みました。具体的には、隔月であった会議を毎月開催にしました。また、広域な圏域に確かな働きかけができるよう、地区ごとに担当を配置し、より地域に密着した支援の充実に努めました。その他、ケアプラザの機能周知と新たな交流・つながり为目标にケアプラザまつりを開催し、各事業の垣根を越えた新しい取り組みにチャレンジしました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人の目標支援制度を活用し、個別の面談や振り返り、内部研修等を計画的に行い、社会人として専門職としての資質の向上に取り組みました。同時に悩みごとなどを抱えないよう精神面へのフォローにも努めました。

また、各事業において公の事業であることを認識し、公正中立な立場で分かりやすい支援に取り組みました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

職員の配転もあり、これまで構築してきたネットワークをさらに充実できるよう、できる限り地域の会合や行事にお邪魔し、顔のみえる関係づくりに努めました。

各地区では地域の実情に合わせた様々な取り組みが行われました。元気づくり推進協議会の発足や商店会と連合町内会が一緒になって町の活性化に向けた話し合いの発足、長年継続してきたサロンの新たな試みなど、住民と関係機関が協働でネットワークを活かし、福祉保健ニーズの解決に取り組みました。

(6) 区行政との協働

「中なかいいネ」第3期計画推進に向け、地域に根ざしている強みを活かし、各地区の取り組みやニーズの発見に努め、推進会議や地域支援チームでの情報共有を行いました。

地域ケア会議の開催にあたっては、区行政や社会福祉協議会と協力することで、多職種間での意見交換が実現し、ニーズの発見や気づきなど多くの成果を上げることができました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

横浜市型の「地域まるごと支援」を目標に掲げた、世代・分野やケアプラザ内の事業毎の縦割りを無くし、地域包括支援センターと連携し、全世代が集まり、多世代での交流ができる「あったかサロン」を新規創設しました。地域との交流・民間企業との連携をサロン内で行えるよう、イベント等の工夫をしました。

また、地域状況、地域課題、ニーズを反映しつつ、新たな世代・分野のケアプラザ利用を促すことが出来るよう、中区制90周年事業・開港記念会館100周年事業とのタイアップ企画、中区内区民利用施設ネットワーク会議を活用し、各施設と連携した事業展開と、学齢期を対象とした事業の他、障害児者の地域理解を促進する事業を区内ケアプラザ共催で実施しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

「施設利用マニュアル」を遵守し、福祉保健活動団体・支援団体が安定し継続して活動できるよう配慮した場の提供を行いました。利用希望日の中でも部屋の調整を適正に図るとともに、新規利用団体に対するマニュアルの説明や空き情報の提供などを的確に行い、活動が円滑に行えるように支援に努めました。

各団体の活動発表の場・地域住民の交流の場として「ケアプラザまつり」を行ないました。「ケアプラザまつり」には地域住民など約200名が来館され、今までケアプラザに来館する機会のない方々に対しても、情報提供を行うことができました。

こども食堂を行う3団体の連絡会を3回開催し、それぞれの運営団体の課題共有や情報交換の場として整備しつつ、「ケアプラザまつり」においても食事の提供を3団体が連携して行うことができました。また連絡会を通じ、区行政と連携しネットワークの構築に努めました。

ケアプラザ広報紙「ほほえみがえし」を隔月で発行し、地域住民・関係機関に対し情報提供を行うほか、新たな情報発信ツールとしてFacebookページの管理を始め、幅広い世代への情報発信を行いました。

地域の方をお迎えするエントランスの環境整備と「みんなの健康ステーション」の利用促進を継続して行いました。活動する会場は、適切な維持管理と整備を行い、快適に使っていただけるように心がけました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

「あったかサロン」の担い手育成を見据えた、コーヒーボランティア養成講座を1回（3回連続講座）を行いました。講座修了後は、あったかサロンにて地域の方向けにコーヒーを淹れるボランティアとして活躍されています（概ね3名程度）。区ボランティアセンターや他関係機関と連携し、個人・団体活動の積極的な受入と、活動の場の提供を行いました。（個人登録5名増加・団体登録2団体増加）

「ケアプラザまつり」を初めて企画・実施し、そのなかで発表の場を提供することでケアプラザを利用されているボランティア団体の活発な活動を支援しました。（舞台発表6団体参加・作品展示4団体参加）

障害児者支援の一環として、中区社会福祉協議会、中区内のケアプラザ、みはらしポンテ、中区障害者自立支援協議会と連携を図り、「ボランティア養成講座」を開催し、障害児者の理解及び地域における支援事業に繋げていきました。

またシニアボランティアポイント制度を活用し、高齢者の活動の場の提供を行うと同時に、制度の周知を行い、参加を広げていきました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

各地域で実施された会合やさまざまな行事（防災訓練、餅つき大会など）に参加し、地域情報の収集に努めました。把握した地域情報については、所内連携会議で共有し、関係機関への情報提供に努めたほか、介護専門のポータルサイト（ayamu）を活用し、情報の整理・活用に努めました。

また、ケアプラザに登録の福祉保健活動団体の発表会を兼ねた「ケアプラザまつり」を開催し、活動の紹介や団体どうしの交流につなげることができました。団体どうしの情報交換や利用者アンケートを実施したなかで、支援ニーズの把握に努めたほか、一部の団体から施設の避難経路について知りたいといった要望をいただくことができました。

2ヵ月に1回 広報紙を発行し、地域の会合での配布や、町内掲示板や町内会の班回覧・戸別配布依頼、介護サービス事業所への送付、担当エリアを越えた各関係機関への送付による情報発信・周知活動を継続して行いました。その他、新たな情報発信ツールとしてFacebookページの管理を始め、幅広い世代への情報発信を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

生活支援コーディネーターを中心として、エリア内の生活支援体制整備事業を円滑に、また地域の中で分かりやすく受け入れてもらえるように地域ケアプラザとして、他の職種、他事業の地域交流コーディネーター、地域包括支援センター職員と協働して推進に努めました。また、事業の周知のために「生活支援コーディネーター瓦版」を毎月発行し地域の方に知っていただく機会を増やしました。他の地域の方の活動をお互いに知っていただく良い機会となりました。

多国籍の方との地域交流を図るために、「ケアプラザまつり」の中で、横浜市国際交流協会と共催でフェイスペイントを実施しました。中国籍の中学生ボランティアにも手伝ってもらいながら多国籍の方の参加につなげることができました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

積極的に地域に出て行き、触れあいの中で直接に地域の方達から意見や課題の抽出に努めました。個別の相談を包括に繋げることもありました。その中で、地域活動の詳細把握（運営状況・参加者数など）をし、ayamu の入力に役立てました。高齢化率等の統計から見られる人口動態等と照らし合わせ、分析し、生活援助・介護予防に関わるものなどのニーズの把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

協議体を繰り返し開催することで、地域資源創出の柱となる地域の住民が、問題意識を持って、その地域の実情に合った生活支援サービスの創出が出来るように、協議体を意識した場の設定に努めました。始めに、石川打越地区での協議体の定期的な開催が出来るように関係機関、関係部署と連携して取り組みました。石川打越地区で先行して取り組んだ協議体を、他地域で紹介し、他地域でも円滑に協議体の設置・開催が出来るように準備を行いました。

第1北部地区のケア会議から派生した地域の助け合いの組織作りに向けた話し合い（協議体）の開催も来年度に向けて進みつつあります。埋地地区では、地区社協の活動について区・区社協を含めた地区社協メンバーで今後の活動や周知について話し合いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

地域課題は小さな地域での課題と、その課題が近隣地域での課題と共通点があったり、より広域な地域での課題として捉え、取り組んだりした方が、より効果的な取り組みが出来る場合に、連合町内会エリア全体での協議体の開催に繋げるよう努めました。具体的には、石川打越地区で2回協議体の開催を行いました。埋地地区では、雨天のため中止になりましたが日ノ出町公園において、町内会関係なく地域の方が活動できる環境づくりを行い多国籍の方を含めた住民の地域交流に取り組みました。第1北部地区でも地区分析の結果から協議体の準備を進められるように努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

各地区の民児協に全て参加、また各地域の地区社協等主催のサロンや給食会へもほぼ全て参加させていただきました。参加にあたっては、地域交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと協働しました。地域住民とのネットワークを構築することで、各地区の課題や相談に対応し、包括レベル地域ケア会議を1回開催、協議体を2回開催しました。

また、「寿地区個別支援推進事業」と連携し、個別ケースへの対応にあたり、寿地区や他地区との社会資源とも繋がりができました。

② 実態把握

地域支援チーム会議等を通じて区役所や社会福祉協議会と協力し地区ごとの統計や社会資源をまとめ課題整理等を行いました。

また、相談業務や介護予防支援業務などで得られた情報をもとに地区ごとの統計を取り運営協議会等で発表しています。

③ 総合相談支援

毎朝のミーティングに於いて、相談ケースの情報共有を図り、チームとして相談に対応しました。また、相談内容に応じて社会資源や繋ぎ先の情報を集め分類し職員間で共有しました。

月に1度の定例カンファレンスや随時のカンファレンスを区役所や関係機関と、困難ケースの対応にもチームで取り組みました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

各関係機関からの相談において、成年後見制度や任意後見の対応が適切と思われるケースでは、区役所等と連携を図り、本人や親族の同意を得て申し立てに繋げていきました。

申し立てにあたっては、関係機関への紹介や必要に応じて同行し支援しました。また、後見制度や死後事務委任契約等、相談ケースからニーズを探り、地域のサロンで講座を2回行いました。

② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待の早期発見と迅速な対応を行うことができるように、中区との連携を強化していきました。虐待が疑われる場合には、迅速に対応することができるように、適切な尺度を用いて対応し、所内職員が誰でも同じ対応ができるように体制を整えました。虐待対応のスキル向上のために、中区内の地域包括支援センターと連携し、勉強会の開催や事例の共有を行いました。また、地域の方や介護保険事業所等に高齢者虐待防止と対応方法を啓発することで、早期の発見と虐待の深刻化を防ぎました。

高齢者虐待予防の観点から、介護者の介護負担軽減のために「介護者の集い」を継続して開催し、介護者同士の話し合いの中で、介護に対する共感や介護に対するアドバイス、一息入れる場を年間4回開催しました。介護者同士の話し合いの中で、オムツの使い方で最初は困った、施設選びが大変との話があり、介護者の集いの中で講師に依頼し『オムツ講座』を開催。定例の集いとは別の日に近隣のデイサービス利用者家族も対象にした『介護施設の違いを学ぶ講座』を2月14日に開催しました。

③ 認知症

認知症の方が住み慣れた地域で生活していく事ができるように、認知症サポーター養成講座を地域で3回開催しました。

また、居場所作りのためにケアプラザにてサロンを毎月開催し認知症の方やその家族・地域住民等相互の交流を図りました。またサロンの中で介護者のストレス解消や介護負担の軽減を図るため「介護者の集い」を4回開催し、今年度は紙オムツ講座も実施しました。

エリア内での地域の高齢者の居場所作りを、地域ケア会議や協議体を通し地域住民に働きかけ支援しました。まだ実施には至っていませんが、話し合いが行われています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域のインフォーマルサービスを地区民生委員児童協議会への出席や地区のサロンへの参加を通じ把握・情報整理を行い、ケアマネサロンや個別のケアマネジャーの相談を通じ情報提供を行いました。

その他、介護保険制度の説明や施設の勉強会など、地域のサロン等にて5回実施しました。また、介護保険事業所と薬局との連携のため、包括レベル地域ケア会議を開催し次年度の交流会の開催に繋げることができました。

② 医療・介護の連携推進支援

中区医療連携検討会に継続して参加し、医療と介護の連携について検討し、医療関係機関との連携強化を図りました。医療機関と介護事業所などの顔の見える関係作りが出来るように、地域ケア会議への積極的な参加要請や、事例検討会の実施、研修を実施しました。

また、エリア内の薬局と介護事業所との連携構築のため薬剤師による講義や包括レベル地域ケア会議を開催しました。

③ ケアマネジャー支援

かいごの WA! なか」の居宅支援専門員部会に対し、後方支援を区内 6 施設の地域包括支援センター共同で行いました。

また、本年度も中区内地域包括支援センター協働で、新任・就労予定ケアマネジャーに対して実習を実施しました。昨年の課題を踏まえ、実習日数を削減するなど、できる限りケアマネジャーが受講しやすい環境づくりに努めました。

実習ではアセスメントからの流れを各居宅支援事業所の主任ケアマネの協力を得て担当制にし、個々の新任ケアマネにきめ細かい支援が出来るように支援しました。

ケアマネジャーからの支援困難事例や制度についての相談に対して、包括各職種、区と関係機関と連携し、必要時には利用者宅の同行訪問や担当者会議に参加をし、自立支援に資するケアプラン作成がなされるような支援を行いました。

寿福祉プラザの協力による「寿地区ケアマネ勉強会」や、中区生活衛生課の協力による「衛生害虫について」、定期的な事例検討会などを開催し、ケアマネジャーの質の向上ができるように支援しました。

中区地域包括支援センター持ち回りでケアマネサロンを開催し、地域の社会資源の情報を生活支援コーディネーターの協力を得て共有し社会資源マップを作成しました。また、制度の周知、ケアマネジャーが支援していく中で困った事を他のケアマネジャーと話し合い支援の糸口が見つかるように支援しました。またケアマネジャーがお互いに顔の見える関係が構築できるような支援をしていきました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別ケース検討地域ケア会議を 3 回実施 包括レベル地域ケア会議を 1 回開催し、また継続的に円滑に実施できるような体制づくりに取り組みました。その取り組みとして、これまで地域包括支援センター、区役所、社会福祉協議会が事務局となり会議を進めてくるものが多くありましたが、居宅介護支援事業所のケアマネジャー等に計画の段階から参加をお願いし、現場で働く人の視点からの問題点を会議で話し合い出来るように企画しました。

また、いろいろな職種の方に地域ケア会議に参加してもらうような働きかけを行いました。

さらに地域ケア会議で上がった課題について、会議後に振り返りを行い、生活支援コーディネーター等と連携し住民の新たな社会資源の開発を支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

要支援 1・2 または事業対象者の方々が、地域の中で自助・共助を通じて自立した生活が送れるようにインフォーマルサービスの紹介や民生委員さんとの繋がりを意識し介護予防計画を作成しました。当エリアでは毎月約 400 件以上の実績があり、それぞれ個別のケースに対し、要望に応じて地域の情報を提供しました。

また、中区 6 包括主催の新任ケアマネジャー研修にて介護予防支援の研修講座を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

介護予防で注目されているフレイルの予防として重要な口腔機能に着目し、地域の歯科医と連携し、年6回、口腔機能の事業を実施しました。

地域との交流・民間企業との連携・ボランティアの発掘育成をサロン内で行えるよう、イベント等タイアップして工夫していきました。

不老町地域ケアプラザエリアは活動場所の確保が難しいといった課題もあり、「公園 de 健康づくり」では千歳公園を使って公園に設置してある健康遊具の使い方を体育協会講師から学び、最後に参加者の方々にペタンクを行いました。

栄養講座では「ジンジャーシロップ」を開催し生姜シロップの作成を地域の高齢者と一緒に行いました。

昨年度から開始した介護予防事業「コグニサイズで健康脳！」を地域住民主体の活動に移行していき、元気づくりステーション「赤英元気会」とともに継続した活動への支援に努めました。

5 その他

寿地区の重度化防止を目的に「寿地区個別支援推進事業」の推進に努め、区行政、ケアプラザ内地域包括支援センターと連携し66名の方の健康づくりにつなげることができました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設運営に大切な利用者からの意見に耳を傾ける体制を整えた上で、法令遵守と効率的な運営を念頭に施設の適切な維持管理に努めました。

当該年度は、老朽化した細かな小破修繕が目立ち、施設利用者に不利益がないよう迅速な対応に努めました。

また、利用者が安全に施設利用出来るように定期点検を実施し、不具合などが発見された場合は、専門業者との綿密な打ち合わせの上、予算の適切な執行に努め、各機関と調整しながら速やかに対応しました。

(2) 効率的な運営への取組について

効率的な運営を行うため、各部門で業務の見直しを行いました。具体的には会議の開催頻度をはじめ、職員配置・業務分担を見直し、専門職間での情報共有の仕組みを変更しました。こうした取組みで、新たに時間の有効活用につながることができ、業務の省力化を実現することができました。

(3) 苦情受付体制について

法人の掲げる「苦情解決に関する規程」に基づき苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の連携により迅速な対応に努めました。受付方法として、窓口の受付だけでなく、ホームページからの専用フォームや、苦情受付箱設置により、対面での訴えづらさに考慮した幅広い受付体制を整え支援に臨みました。また、日頃からの要望や不満点が苦情に至らないように、年1回利用者アンケートを実施し、サービスや体制の見直しや配慮を行い、利用者の満足度向上に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に全職員が敏速且つ的確に行動ができるように、緊急時対応マニュアルを整備、周知、体制作りを行いました。有事に冷静な対応ができるように、職員会議などでマニュアルの確認研修の実施とともに、9月と3月にケアプラザ内で計画的な訓練を実施しました。

当施設が災害時には「特別避難場所」として開設することを認識し、中区特別避難場所会議のほか、情報受伝達訓練に参加し、発災時に備えた取り組みを行いました。

また、各地域の地域防災拠点との連携が円滑に進むように、地域防災訓練に参加し、互いの理解に努めました。

(5) 事故防止への取組について

事故が起きた際に、事故防止マニュアルに沿った行動が的確に出来るように、定期的な研修により様々な分野の事故防止に取り組みました。また、日頃より、事故に対する危機意識を高めるため、リスクマネジメントに関する知識の習得を目的に、事故報告書やヒヤリ・ハットの情報を職員間で共有し、常に危機意識をもって業務に臨み事故防止につなげるよう努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の掲げる「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努めました。各職員においては危機意識を常に持って業務に取り組めるように、「横浜市個人情報保護条例」の趣旨を踏まえ、定期的な研修などで意識啓発を図るとともに、チェックシートにより日頃の業務方法の確認を行いました。各部署では、個人情報漏洩事故につながるような業務に対して、ルール作りを行い、それが例外なく実施されるように、日々の確認を行いました。

(7) 情報公開への取組について

ケアプラザ広報誌「ほほえみがえし」を隔月で発行し、情報発信と事業や施設の活動内容を積極的な公開に努めました。誌面については、毎号企画段階で各部門合同による編集委員会を開き、協力医の医学情報の提供を企画するなど、内容の充実や見やすい誌面作りに努めました。

また、ホームページの更新に力を入れ、最新の情報を公開出来るように心掛けると同時に、不老町 Facebook を立ち上げ、新しい情報発信ツールの開発に取り組みました。

(8) 人権啓発への取組について

当施設のエリア内には、様々な人種、様々な出身、境遇、立場の住民が居住しています。その中で、施設職員として、何が人権の侵害をし、どうして起こるのかを学ぶ研修機会を設け、その改善に資する取り組みを行いました。また、「ケアプラザまつり」においては、国際交流ラウンジと協力し、外国籍の方の相談コーナーや外国語のチラシを作成するなど、人種の垣根を越えた取り組みを実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

省エネルギーに取り組むことで、環境への配慮を行いました。まずは、老朽化した事務所の照明器具のLED化を実現しました。その他、窓の開閉による、換気や温度調整、こまめな消灯により節電にも取り組みました。こうした取り組みは、職員のみだけではなく、施設の利用者にも理解を求めた上で、施設全体の取組として行いました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名
主任ケアマネジャー	2名
社会福祉士	2名
介護支援専門員	3名

《目標に対する成果等》

利用者が住み慣れた町で、御自身の能力を活かし自分らしい生活ができるよう、自立支援に則った介護予防計画の作成に努めました。

介護サービスのみならず、地域と関わり、より豊かな生活ができるよう様々な支援に取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常の事業実施地域を越えて行う場合は交通費を実費請求
- 利用者の求めに応じて記録等の複写物を提供した場合は実費請求

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者が介護サービスを利用するにあたり、複数の事業所から利用者が選択する際に、事業所リストを用いた上で公平中立な立場で支援に臨みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
420	418	430	422	417	416
10月	11月	12月	1月	2月	3月
412	411	420	409	406	403

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名
介護支援専門員 4名

《目標に対する成果等》

要介護状態であっても、自身の意思決定が尊重され、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように、利用者の有する能力や環境に応じたケアプランの作成に努めました。ケアプラン作成においては御利用者や御家族の意向を尊重し、介護保険サービスのみならずインフォーマルなサービスも取り入れ、QOL向上を目指した支援に取り組みました。また各事業所やサービス（社会資源）の特色や機能を把握し、幅広い選択肢の中からご本人に合った適切なサービスにつなげました。

サービス利用時においては、計画に基づいたサービス提供が適切に実施されるように、各事業所との連絡調整を十分に行いました。

事業所として、月平均 61 件のご相談に対応しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常の事業実施地域を越えて行う場合は交通費を実費請求
- 利用者の求めに応じて記録等の複写物を提供した場合は実費請求

《その他（特徴的な取組、PR等）》

困難ケースなど地域包括支援センターと協働することで、積極的に関わり、支援に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
64	65	66	64	62	61
10月	11月	12月	1月	2月	3月
62	61	58	60	58	58

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 介護サービス
- 入浴・給食・送迎等の各サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	801円
（要介護2）	933円
（要介護3）	1,070円
（要介護4）	1,207円
（要介護5）	1,345円
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：45 ～ 16：50 半角で入力 例 9：00～15：00)

《職員体制》

- | | |
|---------|----------------------|
| 管理者 | 1名（常勤兼務） |
| 生活相談員 | 4名（常勤兼務） |
| 看護職員 | 4名（非常勤兼務） |
| 介護職員 | 14名（常勤兼務4名・非常勤兼務10名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（非常勤兼務） |

《目標に対する成果等》

ケアマネジャーによる居宅サービス計画書に基づいて、利用者個々に適切な通所介護計画書を作成し、通所介護サービスを計画的に提供しました。第1号通所事業と合わせて、1日の平均利用者数23名を達成しました。

安全で安心したサービスが利用できるような環境整備を行い、人材確保、人材育成に力を入れることで安定したサービス提供に取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

季節感を大切にし、四季折々のプログラムを取り入れて提供しました。

職員は各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高いサービス提供と顧客満足度の向上に努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
657	677	598	653	628	602
10月	11月	12月	1月	2月	3月
677	636	597	570	550	655

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 介護サービス
- 入浴・給食・送迎等の各サービス
- 運動器の機能向上・口腔機能の向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 1,890円
 - （要支援1） 1,890円
 - （要支援2週1） 1,890円
 - （要支援2週2） 3,872円
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：45 ～ 16：50)

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 14名（常勤兼務4名・非常勤兼務10名）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

個々の利用者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように各種機関と連携を図りサービスを提供しました。

介護保険改正に対応することで、地域との連携を強化に努めました。

年間を通して安定した利用者数を確保して、通所介護と合わせて1日平均23名を達成しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

季節感を大切にし、四季折々のプログラムを取り入れて提供します。

職員は各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高いサービス提供と顧客満足度の向上に努めました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
12	15	12	12	11	11
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	9	11	10	11

平成29年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,432,000	72,041	13,359,959	13,359,959	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	75,300	75,300	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	2,380,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	3,612,480		3,612,480	3,612,480	0	
収入合計	19,424,480	72,041	19,352,439	19,427,739	75,300	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,681,000	0	11,681,000	11,715,352	34,352	
本俸	8,560,000		8,560,000	7,586,813	973,187	
社会保険料	1,480,000		1,480,000	1,346,702	133,298	
手当計	1,475,000		1,475,000	2,597,254	1,122,254	
健康診断費	17,000		17,000	26,681	9,681	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	131,000		131,000	130,572	428	
その他	18,000		18,000	27,330	9,330	
事務費	1,050,000	0	1,050,000	935,923	114,077	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	
消耗品費	500,000		500,000	438,686	61,314	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	28,134	18,134	
通信費	182,000		182,000	144,709	37,291	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	170,000		170,000	169,504	496	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	2,000		2,000	14,320	12,320	
職員等研修費	30,000		30,000	7,589	22,411	
振込手数料	6,000		6,000	1,944	4,056	
リース料	50,000		50,000	51,192	1,192	
手数料	10,000		10,000	1,620	8,380	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	80,000		80,000	78,225	1,775	
事業費	260,000	0	260,000	216,581	43,419	
運営協議会経費	42,000		42,000	5,502	36,498	予算：指定額
指定管理料充当 事業	218,000		218,000	211,079	6,921	
管理費	5,499,000	0	5,499,000	4,524,386	974,614	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	2,540,000	0	2,540,000	2,734,905	194,905	
電気料金	889,000		889,000	957,217	68,217	
ガス料金	635,000		635,000	683,726	48,726	
水道料金	1,016,000		1,016,000	1,093,962	77,962	
清掃費	200,000		200,000	159,977	40,023	
修繕費	474,000	0	474,000	401,959	72,041	予算：指定額
機械警備費	100,000		100,000	68,803	31,197	
設備保全費	2,185,000	0	2,185,000	1,158,742	1,026,258	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	186,339	13,661	
消防設備保守	150,000		150,000	86,003	63,997	
電気設備保守	150,000		150,000	74,336	75,664	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	35,358	14,642	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	1,635,000		1,635,000	776,706	858,294	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	934,480	0	934,480	937,228	2,748	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	934,480		934,480	937,228	2,748	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他 ()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,424,480	0	19,424,480	18,329,470	1,095,010	
差引	0	72,041	72,041	1,098,269	1,170,310	

自主事業費収入	218,000		218,000	0	218,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	218,000		218,000	211,079	6,921	
自主事業収支	0	0	0	211,079	211,079	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	34,235,000	460,153	33,774,847	33,774,847	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,324,909	4,464,091	4,464,091	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	2,700	2,700	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	8,277,440		8,277,440	8,277,440	0	
収入合計	48,452,440	1,785,062	46,667,378	46,670,078	2,700	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,412,000	0	45,412,000	42,031,894	3,380,106	
本俸	23,327,000		23,327,000	22,502,109	824,891	
社会保険料	5,660,000		5,660,000	5,610,999	49,001	
手当計	15,607,000		15,607,000	13,101,059	2,505,941	
健康診断費	65,000		65,000	67,977	2,977	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,000		617,000	606,920	10,080	
その他	136,000		136,000	142,830	6,830	
事務費	425,940	0	425,940	679,776	253,836	
旅費	5,000		5,000	2,435	2,565	
消耗品費	65,000		65,000	64,952	48	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	260,000		260,000	258,705	1,295	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	14,320	14,320	
職員等研修費	74,000		74,000	88,692	14,692	
振込手数料	1,000		1,000	1,718	718	
リース料	15,000		15,000	13,608	1,392	
手数料	5,940		5,940	5,680	260	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	229,666	229,666	
事業費	1,153,000	0	1,153,000	712,885	440,115	
協力医	630,000		630,000	189,000	441,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	63,000		63,000	3,825	59,175	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	153,597	2,597	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	366,463	57,463	予算:指定額
管理費	1,461,500	0	1,461,500	1,202,670	258,830	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	675,000	0	675,000	727,000	52,000	
電気料金	236,250		236,250	254,450	18,200	
ガス料金	168,750		168,750	181,750	13,000	
水道料金	270,000		270,000	290,800	20,800	
清掃費	50,000		50,000	42,523	7,477	
修繕費	126,000		126,000	106,847	19,153	予算:指定額
機械警備費	26,000		26,000	18,289	7,711	
設備保全費	584,500	0	584,500	308,011	276,489	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	49,533	467	
消防設備保守	40,000		40,000	22,861	17,139	
電気設備保守	40,000		40,000	19,759	20,241	
害虫駆除清掃保守	13,000		13,000	9,398	3,602	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	441,500		441,500	206,460	235,040	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	48,452,440	0	48,452,440	44,627,225	3,825,215	
差引	0	1,785,062	1,785,062	2,042,853	3,827,915	

自主事業費収入	523,000			2,700		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	523,000			523,885		
自主事業収支	0			521,185		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市不老町地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	24578	9560	78882	4132
	その他	0	385	14550	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	50	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
	受託収入	0	335	0	0
	施設利用料収入	0	0	2380	0
	施設整備等積立資産取崩	0	0	3500	0
	その他	0	0	8670	0
	収入合計(A)	24578	9945	93432	4132
支出	人件費	0	15242	60506	0
	事務費	0	1103	4945	0
	事業費	0	13	11604	0
	管理費	0	0	5904	0
	その他	15315	0	2532	0
	利用者負担軽減額	0	0	28	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	15315	0	0	0
	施設利用相当額	0	0	2380	0
	固定資産取得支出	0	0	123	0
	利用者等外食費支出	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	
支出合計(B)	15315	16358	85491	0	
収支 (A)－(B)		9263	-6413	7941	4132

説明

列追加の場合はこの部分に追加

列追加の場合はこの部分に追加

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市不老町地域ケアプラザ

地域活動交流支援

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「あのね」	<p><目的> 子育て中の親子の「友達づくり」交流・情報交換の場として公園に出掛けるような、気軽に立ち寄ることができるフリースペース。参加者同士が積極的に情報交換、イベント参加を通じて育児環境の向上を図る。また、養育者の孤立を予防する。</p> <p><内容> H25年度より、区派遣の子育て相談員を受け入れ、身近な相談場所としての機能を持つ。不定期で中区子育て支援拠点「のんびりんこ」から子育て情報の提供の時間や、子育てに関する講座を開催した。</p>	<p>休館日を除く 月曜日 10:00～16:00 (子育て相談:開催日の祝日を除く 10:00～12:00)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママリフレッシュ	<p><目的> 育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的としている。</p> <p><内容> 出産後の母親とその子どもを対象とした、親子の体操も取り入れながら、ヨガを取り入れた運動を通して心身をほぐし体調を整えていく事を目的とした講座。</p>	<p>毎月第4金曜日 10:30～12:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン教室	<p><目的> パソコンに興味のある地域の方を対象に、自分のペースで操作や応用について学び、日常生活の中でパソコンの操作の習得と参加者同士の図った。趣味活動 講師の体調不良により5月で終了</p> <p><内容> ・前半は親子で身体を動かしていく ・後半は、母親だけ体操で身体を動かしていく 乳幼児については、職員が保育、見守りを行っていく。</p>	<p>毎月第2・第4木曜日 13:30～15:00 4月5月の4回開催</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座 「ボラたま！」	<p><目的> ボランティア啓発・活動支援 地域の人材発掘、地域参加へのきっかけ作りとして、障害児余暇支援事業のボランティア育成とともに、障害児の地域生活を支援するサポーターを増やすねらい。</p> <p><内容> 障害児者・啓発ネット「わっしょい」による障害者理解、心理体験プログラムを行い、ボランティア講座を実施した。(区内6ケアプラザ・区社会福祉協議会共催)</p>	<p>年1回 7月1日開催</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと一緒にあそぼう！	<p><目的> 地域に暮らす親子の健康づくりと、公園での親子のふれあい遊びを通じて運動能力・センスを磨くことの大切さを伝える講座。地域の子育て支援に関わる人の交流と、人材発掘、区民利用施設同士が連携して各施設相互利用の促進を図った。</p> <p><内容> 日ノ出川公園で親子遊びを行った後、自主事業「あのね」特別開設し事業の紹介を行った (のんびりんこ・中スポーツセンター共催事業)</p>	<p>年1回 6月3日(土) 10:00~12:00 (~15:00までフリースペース開設)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーボランティア養成講座	<p><目的> 「あったかサロン」内での活動、担い手育成を見据えたボランティア養成講座。日常生活で何気なく口にする「コーヒー」について、様々な知識を身につけることで楽しむ趣味に、またおもてなしの楽しみを感じる事の出来る実践を含めた講座を開催。 開催後にはあったかサロン等で実際にボランティアとして活動して頂いている。</p> <p><内容> 日常生活で何気なく口にするコーヒーを美味しく味わうには。実践を含め一緒に探りながら楽しむ全3回の講座～コーヒーを「知り、たのしみ、おもてなす」コツを学ぶ～ ①コーヒーの基礎知識と淹れ方のコツ ②産地別・焙煎・精製方法による味わいの特徴 ③季節やシーンにあったコーヒーの淹れ方</p>	<p>全3回講座×2回 6～8月第2木曜 12～2月第2木曜 10:00～11:30</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ広報活動	<p><目的> 地域活動の推進及びケアプラザ広報周知</p> <p><内容> 地域福祉保健活動関連の情報や、ケアプラザ事業、地域活動について情報発信し、地域活動への参加促進を促すため、またケアプラザの広報周知のために、広報紙「ほほえみがえし」の発行と、定期的なホームページの更新、新たな発信ツールとしてFacebookページの開設を行った。</p>	<p>「ほほえみがえし」…隔月発行 (奇数月)年6回</p>

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったかサロン	<p><目的> 「全世代まるごと支援」を掲げ地域の皆さんが気軽に集うことのできるフリースペース。職種・部門を問わず事業を連携し、実施できる場として活用する。</p> <p><内容> コーヒーボランティア養成講座の参加者による「地域の方へのおもてなし」実践の場としての提供と、障害者作業所等の製作品の販売支援、サロンに集まる方への趣味講座の開催や、多世代交流の場を提供する。 スポットイベント⇒5月度：配食弁当の試食会 8月度：夏休みこどもセミナー</p>	5月より 毎月第4木曜日13：30～16：30（11・12月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり	<p><目的> お祭りを通じて、地域住民に対するケアプラザの広報活動や、団体や地域住民の交流の場としてPRする。</p> <p><内容> 団体発表と地域交流活動の推進のため、全世代まるごと支援を掲げた「あったかサロン」拡大版として、こども食堂の開催・縁日などを行った。</p>	11月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て講座「親子でエクササイズ」	<p><目的> 親子でできる運動について学ぶ。</p> <p><内容> 音楽にあわせお子さんと一緒に体を動かし、お母さんのシェイプアップ&リラクゼーションを行いました。</p>	1月18日 10時～11時30分 1回

地域包括支援センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
後見・相続講座	<p><目的> 遺言の書き方や相続に関しての制度や法律を知ることで、自分の意思や財産を適切に残す事ができるようになり、自身の権利を有効に行使する手段を学ぶ。</p> <p><内容> 後見制度や相続の事について、財産管理契約や死後事務委任契約、任意後見等の話を司法書士に講義いただき、地域住民に啓発を行った。</p>	12月12日 1月9日 2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い 紙おむつ講座	<p><目的> 自宅で介護をしている介護者同士で話をする場を設け、介護方法や介護で困っていることを話し合うことで、介護に対する考え方や精神的負担を軽減する。</p> <p><内容> 介護者の集いの参加者増加を目的とし、介護者が使うであろう紙おむつの理解を深める為に開催。 ユニチャームの方を講師に向かえ、実演を交えた講義を行った。</p>	<p>10月26日 13:30分～</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い 施設説明会	<p><目的> 自宅で介護をしている介護者同士で話をする場を設け、介護方法や介護で困っていることを話し合うことで、介護に対する考え方や精神的負担を軽減する。</p> <p><内容> 高齢者を介護しているご家族の介護知識取得のため開催した。</p>	<p>2月14日</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	<p><目的> 自宅で介護をしている介護者同士で話をする場を設け、介護方法や介護で困っていることを話し合うことで、介護に対する考え方や精神的負担を軽減する。</p> <p><内容> 介護者同士で近況報告や介護を語りある場を提供。 今年度は、コミュニティサロンの時間中に共催した。 また、不老町デイサービスと近隣のデイサービスに呼びかけ施設説明会を開催した</p>	<p>4月18日 7月27日 10月25日 1月25日</p> <p>4回</p>

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

不老町地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て支援 【あのね】	①乳幼児 保育者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	②365人		包括						
	③0円		介護						
			生活						
ママリフレッシュ	①乳幼児 保育者	¥61,248	地活	¥22,448	¥38,800	¥0	¥61,248	¥0	¥0
	②194名		包括						
	③200円		介護						
			生活						
パソコン教室	①乳幼児 保育者	¥5,200	地活	¥4,000	¥1,200	¥0	¥0	¥1,200	¥4,000
	②12名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
ボラたま！ 障害児余暇支援事業 ボランティア講座	①高校生以上	¥2,500	地活	¥2,500	¥0	¥0	¥0	¥0	¥2,500
	②10名		介護						
	③0円		包括						
			生活						
パパと一緒に遊ぼう	①幼児 保育者	¥298	地活	¥298	¥0	¥0	¥298	¥0	¥0
	②55名		包括						
	③0円		介護						
			生活						
コーヒーボランティア養成講座	①地域 一般	¥10,499	地活	¥599	¥9,900	¥0	¥0	¥10,499	¥0
	②33名		包括						
	③300円		介護						
			生活						
広報誌「ほほえみがえし」 発行		¥13,976	地活	¥13,976	¥0	¥0	¥0	¥13,976	¥0
			包括						
			生活						
あったかサロン	①地域の方	¥44,862	地活	¥35,062	¥9,800	¥0	¥0	¥44,862	¥0
	②98名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
不老町ケアプラザ祭り	①地域の方	¥76,300	地活	¥43,600	¥32,700	¥0	¥0	¥76,300	¥0
	②190名		包括						
	③300円		介護						
			生活						
育児講座 親子でエクササイズ	①乳幼児 保育者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	②22名		包括						
	③0円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

不老町地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
後見 相続講座	①高齢者	¥0	地活						
	②10名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	③0円		介護生活						
介護者の集い 紙オムツ講座	①高齢者	¥0	地活						
	②12名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	③0円		介護生活						
介護者の集い 施設説明会	①高齢者	¥0	地活						
	②12名		包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	③0円		介護生活						
介護者の集い	①高齢者	¥0	地活						
	②2名		介護包括	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	③0円		生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。